令和 8 年 7 月 6 日

神経精神医学講座教育・研究組織に関する提言

１．講座のあり方と方向性

神経精神医学講座は、精神医学を基盤とする教育・診療・研究を推進し、精神疾患に対する高度な医療を担うとともに、地域医療を支える専門医の育成と当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのため、先進的な研究の推進と人材の確保・育成が求められる。

２．診療

青森県を中心とする地域全体の総合的な診療体制を構築し、本学附属病院における精神科診療の中核となり、関連診療科および地域医療機関との連携の下に高度かつ先進的な医療を実践するとともに、その発展に貢献することが求められる。

３．教育

卒前・卒後教育の全ての段階において精神医学教育の充実を図り、幅広い知識と高い臨床能力を有する医師の育成に積極的に携わることが求められる。

４．研究

精神疾患の病態解明、診断及び治療法の開発をはじめとする神経精神医学に関する学理及びその応用の研究を推進することが求められる。

５．社会活動

専門医の育成を含め、地域医療機関との連携を強化し、青森県を中心とする地域全体における神経精神医学提供体制の維持・発展に積極的に貢献することが求められる。

６．その他

神経精神医学講座の構成員として第一に求められるものは、卓越した臨床能力と、それを追求する真摯な姿勢である。特に教授には、附属病院神経精神科のリーダーとして、講座・診療科の機能充実を果たすとともに、教育・研究・診療活動を統率できる人物が求められる。また、学外の医療機関との連携を通じて、青森県を中心とする地域全体の地域医療の発展に貢献できる人材であることが望まれる。

神経精神医学講座教育・研究組織提言委員会
石橋恭之（委員長）、横山良仁（副委員長）、井原一成、
三上達也、冨山誠彦、藤田征弘、照井君典、斉藤敦志